安全データシート

Copyright,2023, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	44-5898-0	**版**	2.00
発行日	2023/09/03	**前発行日**	2023/08/01

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
スコッチ・ブライ™　取り替え式トイレクリーナー サンプリングキットT-557-10RF GC AIO TRY, 10 パック/箱

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	コンシューマービジネスグループ
電話番号	042-779-2173

本製品は個々に包装された複数の構成品からなるキット製品である。SDSには個々の構成品のSDSが含まれる。個別のSDSを本表紙から分離しないこと。　この製品を構成する製品のSDS番号は：

42-5377-9, 42-6363-8

輸送上の注意

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない）　取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

セクション１：製品名 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。

安全データシート

Copyright,2025, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	42-6363-8	**版**	4.00
発行日	2025/03/03	**前発行日**	2023/11/30

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
スコッチ・ブライト(TM)　取り替え式トイレクリーナー（重曹プラス）取り替え用スポンジ

３M ストックナンバー
JN-3600-3758-2　JN-3600-3759-0　UU-0128-9910-8　UU-0129-0079-9　UU-0129-8496-7
WN-3009-6909-7

7010689146　7010689147　7100277739　7100322604　7100322755
7100326935

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
研磨材製品

1.3. 会社情報
供給者　スリーエム ジャパン株式会社
所在地　本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門　コンシューマービジネスグループ
電話番号　042-779-2173

2. 危険有害性の要約

GHS分類
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：　区分１
水生環境有害性 短期（急性）：　区分２
水生環境有害性 長期（慢性）：　区分３

GHSラベル要素
注意喚起語
危険

シンボル
腐食性

ピクトグラム

危険有害性情報

H318	重篤な眼の損傷
H401	水生生物に毒性
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

一般：

P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P101	医学的な助言が必要なときには，製品容器やラベルをもっていくこと。

安全対策

P280A	保護眼鏡／保護面を着用すること。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P310	直ちに医師に連絡すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
ポリエチレンテレフタレート	25038-59-9	30 - 50
無機化合物	1317-65-3	10 - 30
スチレン・ブタジエン・アクリルアミド共重合物	26591-53-7	10 - 20
スルホン酸塩系界面活性剤	68585-34-2	7.9
アルキルベタイン系界面活性剤	61789-40-0	3.7
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	68439-50-9	1.1
酸化チタン(Ⅳ)	13463-67-7	1.0
スルホコハク酸塩系界面活性剤	営業秘密	0.26

結晶性シリカ	14808-60-7	0.11

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
石鹸と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

眼への深刻な損傷（角膜の曇り、激しい痛み、裂傷、潰瘍、および視力の著しい障害または喪失）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
刺激性蒸気あるいはガス	燃焼中
硫黄酸化物	燃焼中

消火作業者の保護
ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。　区域から退避させること。　新鮮な空気でその場所を換気する。　大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩した物質を出来る限り多く回収する。　密閉容器に収納する。　残さを清掃する。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
子供の手の届かないところに置くこと。　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　環境への放出を避けること。

保管
熱から離して保管する。 酸から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
無機化合物	1317-65-3	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの,吸入粒子	1317-65-3	ACGIH	TWA (吸入粒子) :10 mg/m3	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの,吸入性粒子	1317-65-3	ACGIH	TWA (吸入性粒子) :3 mg/m3	
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ACGIH	vTWA(吸入性ナノ粒子):0.2 mg/m3;TWA(吸入性微粒子):2.5 mg/m3	A3: 動物発がん性物質

酸化チタン(IV)	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(チタンとして、総粉じんとして)(8 時間):2 mg/m3;TWA(チタンとして、吸引性粉じんとして)(8時間):1.5 mg/m3;TWA(8 時間):0.3 mg/m3;TWA (提案)(8 時間):0.3 mg/m3	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
結晶性シリカ	14808-60-7	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 0.025 mg/m3	A2:ヒトに対して発がん性が疑われる物質
結晶性シリカ (吸入性粉塵)	14808-60-7	JSOH OELs	TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):0.03 mg/m3;CEIL(吸入性粉じんとして):0.03 mg/m3	1：ヒトに対して発がん性がある。

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA : American Industrial Hygiene Association
ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
TWA：時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
全面マスク
間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質： 樹脂ラミネート。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体
物理的状態:	不織布
色	青色
臭い	データはない。
臭いの閾値	*データはない。*
ｐＨ	*データはない。*
融点・凝固点	*データはない。*
沸点，初留点及び沸騰範囲	*データはない。*
引火点	*データはない。*
蒸発速度	*データはない。*
引火性	適用しない
燃焼点（下限）	*データはない。*
燃焼点（上限）	*データはない。*
蒸気圧	*データはない。*
相対蒸気密度	*データはない。*
密度	0.05521 - 0.0602 g/cm3［*参照基準：*水=1］
比重	*データはない。*
溶解度	*データはない。*
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
動粘度	*データはない。*
揮発性有機化合物	*データはない。*
揮発分	*データはない。*
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	*データはない。*
モル重量	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有する。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
検出なし（原材料のみ）

避けるべき条件
発熱と発煙を避けるため、大量に重合する事を避ける。
直射日光
熱。
火花及び／ないし炎
45℃以上の温度
沸点以上の温度

混触危険物質
未確定
強酸

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

皮膚に付着した場合
軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。

眼に入った場合
化学物質による眼の薬傷（化学性腐蝕）： 角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

飲み込んだ場合
胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

毒性データ

セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
ポリエチレンテレフタレート	皮膚		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
ポリエチレンテレフタレート	経口摂取	ラット	LD50 ＞ 5,000 mg/kg
無機化合物	皮膚	ラット	LD50 ＞ 2,000 mg/kg
無機化合物	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	ラット	LC50　3 mg/l
無機化合物	経口摂取	ラット	LD50　6,450 mg/kg
スルホン酸塩系界面活性剤	皮膚	ラット	LD50 ＞ 2,000 mg/kg
スルホン酸塩系界面活性剤	経口摂取	ラット	LD50　2,870 mg/kg
アルキルベタイン系界面活性剤	皮膚	ラット	LD50 ＞ 2,000 mg/kg
アルキルベタイン系界面活性剤	経口摂取	ラット	LD50 ＞ 1,500 mg/kg
酸化チタン(IV)	皮膚	ウサギ	LD50 ＞ 10,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	ラット	LC50 ＞ 6.82 mg/l
酸化チタン(IV)	経口摂取	ラット	LD50 ＞ 10,000 mg/kg
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	経口摂取	ラット	LD50 ＞ 2,000 mg/kg
スルホコハク酸塩系界面活性剤	皮膚	ウサギ	LD50 ＞ 10,000 mg/kg
スルホコハク酸塩系界面活性剤	経口摂取	ラット	LD50 ＞ 2,100 mg/kg
結晶性シリカ	皮膚		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
結晶性シリカ	経口摂取		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ポリエチレンテレフタレート	In vitro data	刺激性なし
無機化合物	ウサギ	刺激性なし
スルホン酸塩系界面活性剤	ウサギ	刺激物
アルキルベタイン系界面活性剤	ウサギ	軽度の刺激
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	ウサギ	刺激物
スルホコハク酸塩系界面活性剤	ウサギ	刺激物
結晶性シリカ	専門家による判断	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ポリエチレンテレフタレート	ヒト	刺激性なし
無機化合物	ウサギ	刺激性なし
スルホン酸塩系界面活性剤	ウサギ	腐食性
アルキルベタイン系界面活性剤	ウサギ	腐食性
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし

ポリオキシエチレンアルキルエーテル	ウサギ	腐食性
スルホコハク酸塩系界面活性剤	ウサギ	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ポリエチレンテレフタレート	ヒト	区分に該当しない。
スルホン酸塩系界面活性剤	モルモット	区分に該当しない。
アルキルベタイン系界面活性剤	多種類の動物種	区分に該当しない。
酸化チタン(IV)	ヒト及び動物	区分に該当しない。
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	モルモット	区分に該当しない。
スルホコハク酸塩系界面活性剤	ヒト	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
ポリエチレンテレフタレート	In vitro	変異原性なし
スルホン酸塩系界面活性剤	In vitro	変異原性なし
スルホン酸塩系界面活性剤	In vivo	変異原性なし
アルキルベタイン系界面活性剤	In vitro	変異原性なし
アルキルベタイン系界面活性剤	In vivo	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vivo	変異原性なし
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	In vitro	変異原性なし
スルホコハク酸塩系界面活性剤	In vivo	変異原性なし
スルホコハク酸塩系界面活性剤	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
結晶性シリカ	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
結晶性シリカ	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
酸化チタン(IV)	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
酸化チタン(IV)	吸入した場合	ラット	発がん性
結晶性シリカ	吸入した場合	ヒト及び動物	発がん性

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
無機化合物	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 625 mg/kg/日	交配前および妊娠中。

スルホン酸塩系界面活性剤	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	2 世代
スルホン酸塩系界面活性剤	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	2 世代
スルホン酸塩系界面活性剤	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	2 世代
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	授乳期早期交配
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	29 日
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	授乳期早期交配
スルホコハク酸塩系界面活性剤	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	3 世代
スルホコハク酸塩系界面活性剤	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	3 世代
スルホコハク酸塩系界面活性剤	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,074 mg/kg/日	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
無機化合物	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.812 mg/l	90 分
スルホン酸塩系界面活性剤	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
アルキルベタイン系界面活性剤	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 入手できない	
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
スルホコハク酸塩系界面活性剤	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ポリエチレンテレフタレート	経口摂取	心臓 | 皮膚 | 内分泌系 | 骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 造血器系 | 肝臓 | 免疫システム | 筋肉 | 神経系 | 眼 | 腎臓および膀胱 | 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	13 週
無機化合物	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
スルホン酸塩系界面活性剤	皮膚	皮膚 | 心臓 | 内分泌系 | 消化管 | 造血器系 | 肝臓 | 免疫システム | 神経系 | 眼 | 腎臓および膀胱 | 呼吸器系 | 脈管系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 6.91 mg/day	90 日
スルホン酸塩系界面活	経口摂取	血液 | 眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 225	90 日

性剤					mg/kg/day	
アルキルベタイン系界面活性剤	経口摂取	心臓 ｜ 内分泌系 ｜ 造血器系 ｜ 肝臓 ｜ 神経系 ｜ 眼 ｜ 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	92 日
酸化チタン(IV)	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
酸化チタン(IV)	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	経口摂取	心臓 ｜ 内分泌系 ｜ 消化管 ｜ 骨、歯、爪及び/又は毛髪 ｜ 造血器系 ｜ 肝臓 ｜ 免疫システム ｜ 筋肉 ｜ 神経系 ｜ 眼 ｜ 腎臓および膀胱 ｜ 呼吸器系 ｜ 脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	29 日
スルホコハク酸塩系界面活性剤	経口摂取	肝臓 ｜ 心臓 ｜ 皮膚 ｜ 内分泌系 ｜ 消化管 ｜ 骨、歯、爪及び/又は毛髪 ｜ 造血器系 ｜ 免疫システム ｜ 筋肉 ｜ 神経系 ｜ 眼 ｜ 腎臓および膀胱 ｜ 呼吸器系 ｜ 脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	90 日
結晶性シリカ	吸入した場合	珪肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく

誤えん有害性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分２：水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）
ＧＨＳ水生環境有害性 長期（慢性）区分３：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ポリエチレンテレフタレート	25038-59-9	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
無機化合物	1317-65-3	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>100 mg/l
無機化合物	1317-65-3	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	>100 mg/l
無機化合物	1317-65-3	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	>100 mg/l
無機化合物	1317-65-3	緑藻類	推定値	72 時間	EC10	>100 mg/l
スチレン・ブタジエン・アクリルアミド共重合物	26591-53-7	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
アルキルベタイン系界面活性剤	61789-40-0	バクテリア	実験	30 分	NOEC	>3,000 mg/l
アルキルベタイン系界面活性剤	61789-40-0	鯉	実験	96 時間	LC50	1.9 mg/l
アルキルベタイン系界面活性剤	61789-40-0	緑藻類	実験	96 時間	EC50	0.55 mg/l
アルキルベタイン系界面活性剤	61789-40-0	ミジンコ	実験	24 時間	EC50	1.1 mg/l
アルキルベタイン系界面活性剤	61789-40-0	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.09 mg/l
アルキルベタイン系界面活性剤	61789-40-0	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.9 mg/l
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	68439-50-9	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	0.423 mg/l
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	68439-50-9	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	0.044 mg/l
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	68439-50-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.125 mg/l
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	68439-50-9	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.037 mg/l
ポリオキシエ	68439-50-9	コムギ	実験	19 日	NOEC	>=100 mg/kg（乾燥重

チレンアルキルエーテル						量)
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	68439-50-9	バクテリア	実験	5 時間	EC50	>2 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	440 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	7,600 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	LC50	5,000 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	60 mg/l
スルホン酸塩系界面活性剤	68585-34-2	バクテリア	推定値	16 時間	EC10	>10,000 mg/l
スルホン酸塩系界面活性剤	68585-34-2	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	27.7 mg/l
スルホン酸塩系界面活性剤	68585-34-2	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	7.4 mg/l
スルホン酸塩系界面活性剤	68585-34-2	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	LC50	7.1 mg/l
スルホン酸塩系界面活性剤	68585-34-2	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	0.95 mg/l
スルホン酸塩系界面活性剤	68585-34-2	ニジマス	推定値	28 日	NOEC	0.14 mg/l
スルホン酸塩系界面活性剤	68585-34-2	ミジンコ	推定値	7 日	NOEC	0.06 mg/l
スルホコハク酸塩系界面活性剤	営業秘密	緑藻類	実験	72 時間	EC50	190 mg/l
スルホコハク酸塩系界面活性剤	営業秘密	ニジマス	実験	96 時間	LC50	28 mg/l
スルホコハク酸塩系界面活性剤	営業秘密	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	19 mg/l
スルホコハク酸塩系界面活性剤	営業秘密	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	28 mg/l
スルホコハク酸塩系界面活性剤	営業秘密	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	7 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l

酸化チタン (IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ポリエチレンテレフタレート	25038-59-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
無機化合物	1317-65-3	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
スチレン・ブタジエン・アクリルアミド共重合物	26591-53-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
アルキルベタイン系界面活性剤	61789-40-0	実験 生分解性	28 日	DOC（溶存有機炭素）残留量	100 DOC除去%	OECD 301E - 修正OECDスクリーニング試験
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	68439-50-9	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	95 %BOD/ThOD	OECD 301F
結晶性シリカ	14808-60-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
スルホン酸塩系界面活性剤	68585-34-2	推定値 生分解性	28 日	DOC（溶存有機炭素）残留量	100 DOC除去%	EC C.4.A. DOC Die-Away試験
スルホコハク酸塩系界面活性剤	営業秘密	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	66.7 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
酸化チタン (IV)	13463-67-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ポリエチレンテレフタレート	25038-59-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
無機化合物	1317-65-3	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
スチレン・ブタジエン・アクリルアミド共重合物	26591-53-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

アルキルベタイン系界面活性剤	61789-40-0	推定値 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	0.69	
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	68439-50-9	実験 BCF - 魚	72 時間	生物濃縮係数	310	
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	68439-50-9	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	5.24	OECD 123、log Kow（オクタノール/水分配係数）、低速攪拌法
結晶性シリカ	14808-60-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
スルホン酸塩系界面活性剤	68585-34-2	実験 BCF - 魚	72 時間	生物濃縮係数	18	
スルホコハク酸塩系界面活性剤	営業秘密	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	<9.3	
酸化チタン(IV)	13463-67-7	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	9.6	

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報
船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない）　取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）
労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用

すること
労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）
化管法：第１種指定化学物質
消防法：指定可燃物（合成樹脂類、その他のもの）
労働安全衛生法：令和4年厚生労働省告示第371号　がん原性があるものとして厚生労働大臣が定めるもの

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
アルキルベタイン系界面活性剤	(3-アミノプロパン-1-イル)(カルボキシメチル)ジメチルアンモニウムのN-ココアシル誘導体内部塩	適用しない	該当	該当
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル（アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。）	適用しない	該当	該当
結晶性シリカ	結晶質シリカ	該当	該当	該当
スルホコハク酸塩系界面活性剤	ナトリウム=1,4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ]-1,4-ジオキソブタン-2-スルホナート	適用しない	適用しない	該当
酸化チタン(Ⅳ)	酸化チタン(Ⅳ)	該当	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
アルキルベタイン系界面活性剤	[(3－アルカンアミドプロピル）（ジメチル）アンモニオ］アセタート（アルカンの構造が直鎖であり、かつ、当該アルカンの炭素数が8、10、12、14、16又は18のもの及びその混合物に限る。）及び(Z)－[［3－(オクタデカ－9－エンアミド）プロピル］（ジメチル）アンモニオ］アセタート並びにこれらの混合物	574	第1種指定化学物質
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)	407	第1種指定化学物質
スルホン酸塩系界面活性剤	ポリ(オキシエチレン)=ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム	409	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報
セクション１５：労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」 情報の追加.
セクション１５：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報の追加.
セクション３：成分表 情報修正.

セクション６：事故漏出時の清掃 情報修正.
セクション６：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
セクション７：貯蔵情報 情報修正.
セクション８：作業環境許容値 情報修正.
セクション８：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
セクション９：特性 情報の削除.
セクション９：燃焼性（固体、ガス)情報 情報の削除.
セクション９：引火性情報 情報の追加.
セクション９：動粘度情報 情報の追加.
セクション９：粒子特性　適用しない 情報の追加.
セクション９：追加性状に関する記載 情報の追加.
セクション９：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
セクション９：粘度 情報の削除.
セクション１１：急性毒性の表 情報修正.
セクション１１：生殖胞変異原性の表 情報修正.
セクション１１：生殖毒性の表 情報修正.
セクション１１：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション１１：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション１１：皮膚感作性の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション１２：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション１２：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション１２：生態濃縮性情報 情報修正.
セクション１５：労働安全衛生法の表 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。

安全データシート

Copyright,2025, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number	42-5377-9	**版**	4.00
発行日	2025/06/24	**前発行日**	2023/08/01

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
スコッチ・ブライト(TM) 取り替え式トイレクリーナー（防汚プラス）取り替え用スポンジ シリーズ

３M ストックナンバー

JN-3600-3755-8	JN-3600-3756-6	UU-0126-6395-9	WN-3009-6908-9
7010689143	7010689144	7100277738	7100307592

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
オールインワン

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	コンシューマービジネスグループ
電話番号	042-779-2173

2. 危険有害性の要約

GHS分類
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分２Ａ
水生環境有害性 短期（急性）： 区分３

GHSラベル要素
注意喚起語
警告

シンボル
感嘆符

ピクトグラム

危険有害性情報

H319	強い眼刺激
H402	水生生物に有害

注意書き

一般：

P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P101	医学的な助言が必要なときには，製品容器やラベルをもっていくこと。

安全対策

P264	取扱後はよく洗うこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
ポリエチレンテレフタレート	25038-59-9	30 - 60
無機化合物	1317-65-3	15 - 35
スチレン・ブタジエン・アクリルアミド共重合物	営業秘密	10 - 30
アルキル（C10-13）ベンゼンスルホン酸ナトリウム	68411-30-3	1.9
ドデシルベンゼンスルホン酸塩	27323-41-7	1.7
酸化チタン(IV)	13463-67-7	1.0
スルホコハク酸塩系界面活性剤	営業秘密	0.26
結晶性シリカ	14808-60-7	0.1

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
石鹸と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すすぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
重大な症状や影響はない。 毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
ホルムアルデヒド	燃焼中
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
刺激性蒸気あるいはガス	燃焼中

消火作業者の保護
ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化

学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。　区域から退避させること。　新鮮な空気でその場所を換気する。　大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩した物質を出来る限り多く回収する。　密閉容器に収納する。　残さを清掃する。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
眼への接触を避ける。　子供の手の届かないところに置くこと。　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。
環境への放出を避けること。

保管
熱から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
無機化合物	1317-65-3	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの,吸入粒子	1317-65-3	ACGIH	TWA（吸入粒子）:10 mg/m3	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの,吸入性粒子	1317-65-3	ACGIH	TWA（吸入性粒子）:3 mg/m3	
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ACGIH	vTWA(吸入性ナノ粒子):0.2 mg/m3;TWA(吸入性微粒子):2.5 mg/m3	A3: 動物発がん性物質
酸化チタン(IV)	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(チタンとして、総粉じんとして)(8 時間):2 mg/m3;TWA(チタンとして、吸引性粉じんとして)(8時間):1.5 mg/m3;TWA(8 時間):0.3 mg/m3;TWA（提	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。

			案)(8 時間):0.3 mg/m3	
結晶性シリカ	14808-60-7	ACGIH	TWA（吸入性分画）： 0.025 mg/m3	A2:ヒトに対して発がん性が疑われる物質
結晶性シリカ（吸入性粉塵）	14808-60-7	JSOH OELs	TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):0.03 mg/m3;CEIL(吸入性粉じんとして):0.03 mg/m3	1：ヒトに対して発がん性がある。

ACGIH ： American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA ： American Industrial Hygiene Association
ISHL ： 労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値)： 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs ： 日本産業衛生学会許容濃度
TWA：時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
サイドシールド付安全メガネ
間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質： 樹脂ラミネート。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体

物理的状態:	不織布
色	青色
臭い	無臭
臭いの閾値	*データはない。*
ｐＨ	*データはない。*
融点・凝固点	*データはない。*
沸点，初留点及び沸騰範囲	*データはない。*
引火点	*データはない。*
蒸発速度	*データはない。*
引火性	適用しない
燃焼点（下限）	*データはない。*
燃焼点（上限）	*データはない。*
蒸気圧	*データはない。*
相対蒸気密度	*データはない。*
密度	0.24 g/cm3
比重	*データはない。*
溶解度	*データはない。*
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
動粘度	*データはない。*
揮発性有機化合物	*データはない。*
揮発分	*データはない。*
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	*データはない。*
モル重量	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有する。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
熱。

混触危険物質
知見はない。

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
吸入した場合の健康障害は予想されない。

皮膚に付着した場合
軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。

眼に入った場合
眼への激しい刺激： 発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

飲み込んだ場合
胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
ポリエチレンテレフタレート	皮膚		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
ポリエチレンテレフタレート	経口摂取	ラット	LD50 ＞ 5,000 mg/kg
無機化合物	皮膚	ラット	LD50 ＞ 2,000 mg/kg
無機化合物	吸入－粉塵/ミスト（4	ラット	LC50　3 mg/l

	時間)		
無機化合物	経口摂取	ラット	LD50　6,450 mg/kg
アルキル（C10-13）ベンゼンスルホン酸ナトリウム	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
アルキル（C10-13）ベンゼンスルホン酸ナトリウム	経口摂取	ラット	LD50　1,080 mg/kg
酸化チタン(IV)	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	吸入－粉塵/ミスト（4時間)	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
酸化チタン(IV)	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
ドデシルベンゼンスルホン酸塩	皮膚	ウサギ	LD50 > 4,199 mg/kg
ドデシルベンゼンスルホン酸塩	経口摂取	ラット	LD50　1,653 mg/kg
スルホコハク酸塩系界面活性剤	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
スルホコハク酸塩系界面活性剤	経口摂取	ラット	LD50 > 2,100 mg/kg
結晶性シリカ	皮膚		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
結晶性シリカ	経口摂取		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ポリエチレンテレフタレート	In vitro data	刺激性なし
無機化合物	ウサギ	刺激性なし
アルキル（C10-13）ベンゼンスルホン酸ナトリウム	ウサギ	刺激物
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
ドデシルベンゼンスルホン酸塩	ウサギ	刺激物
スルホコハク酸塩系界面活性剤	ウサギ	刺激物
結晶性シリカ	専門家による判断	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ポリエチレンテレフタレート	ヒト	刺激性なし
無機化合物	ウサギ	刺激性なし
アルキル（C10-13）ベンゼンスルホン酸ナトリウム	ウサギ	腐食性
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
ドデシルベンゼンスルホン酸塩	専門家による判断	激しい刺激
スルホコハク酸塩系界面活性剤	ウサギ	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ポリエチレンテレフタレート	ヒト	区分に該当しない。
アルキル（C10-13）ベンゼンスルホン酸ナトリウム	モルモット	区分に該当しない。
酸化チタン(IV)	ヒト及び動物	区分に該当しない。
スルホコハク酸塩系界面活性剤	ヒト	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無

い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
ポリエチレンテレフタレート	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vivo	変異原性なし
スルホコハク酸塩系界面活性剤	In vivo	変異原性なし
スルホコハク酸塩系界面活性剤	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
結晶性シリカ	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
結晶性シリカ	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
酸化チタン(IV)	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
酸化チタン(IV)	吸入した場合	ラット	発がん性
ドデシルベンゼンスルホン酸塩	皮膚	マウス	発がん性なし
結晶性シリカ	吸入した場合	ヒト及び動物	発がん性

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
無機化合物	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 625 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
ドデシルベンゼンスルホン酸塩	皮膚	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1.5 mg/kg/日	1 世代
ドデシルベンゼンスルホン酸塩	皮膚	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 10 mg/kg/日	器官発生期
スルホコハク酸塩系界面活性剤	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	3 世代
スルホコハク酸塩系界面活性剤	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	3 世代
スルホコハク酸塩系界面活性剤	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,074 mg/kg/日	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
無機化合物	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.812 mg/l	90 分
アルキル（C10-13）ベンゼンスルホン酸ナトリウム	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
ドデシルベンゼンスルホン酸塩	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL データなし	
スルホコハク酸塩系界面活性剤	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ポリエチレンテレフタレート	経口摂取	心臓 | 皮膚 | 内分泌系 | 骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 造血器系 | 肝臓 | 免疫システム | 筋肉 | 神経系 | 眼 | 腎臓および膀胱 | 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	13 週
無機化合物	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
酸化チタン(IV)	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
酸化チタン(IV)	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
ドデシルベンゼンスルホン酸塩	皮膚	造血器系	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 5 mg/kg/day	13 週
スルホコハク酸塩系界面活性剤	経口摂取	肝臓 | 心臓 | 皮膚 | 内分泌系 | 消化管 | 骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 造血器系 | 免疫システム | 筋肉 | 神経系 | 眼 | 腎臓および膀胱 | 呼吸器系 | 脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	90 日
結晶性シリカ	吸入した場合	珪肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく

誤えん有害性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分３：水生生物に有害。

水生環境有害性 長期（慢性）
GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ポリエチレンテレフタレート	25038-59-9	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
無機化合物	1317-65-3	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>100 mg/l
無機化合物	1317-65-3	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	>100 mg/l
無機化合物	1317-65-3	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	>100 mg/l
無機化合物	1317-65-3	緑藻類	推定値	72 時間	EC10	>100 mg/l
スチレン・ブタジエン・アクリルアミド共重合物	営業秘密	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
アルキル（C10-13）ベンゼンスルホン酸ナトリウム	68411-30-3	バクテリア	実験	16 時間	NOEC	30 mg/l
アルキル（C10-13）ベンゼンスルホン酸ナトリウム	68411-30-3	ブルーギル	実験	96 時間	LC50	1.67 mg/l
アルキル（C10-13）ベンゼンスルホン酸ナトリウム	68411-30-3	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	7.4 mg/l
アルキル（C10-13）ベンゼンスルホン酸ナトリウム	68411-30-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	2.9 mg/l
アルキル（C10-13）ベンゼンスルホン酸ナトリウム	68411-30-3	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	1.28 mg/l
アルキル（C10-13）ベンゼンスルホン酸ナトリウム	68411-30-3	ニジマス	実験	72 日	NOEC	0.23 mg/l
アルキル（C10-13）ベ	68411-30-3	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	1.18 mg/l

ンゼンスルホン酸ナトリウム						
ドデシルベンゼンスルホン酸塩	27323-41-7	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EC50	2.5 mg/l
ドデシルベンゼンスルホン酸塩	27323-41-7	ブルーギル	推定値	96 時間	LC50	1.6 mg/l
ドデシルベンゼンスルホン酸塩	27323-41-7	藻類または他の水生植物	類似コンパウンド	96 時間	NOEC	1.2 mg/l
ドデシルベンゼンスルホン酸塩	27323-41-7	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	2 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	440 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	7,600 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	LC50	5,000 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	60 mg/l
スルホコハク酸塩系界面活性剤	営業秘密	緑藻類	実験	72 時間	EC50	190 mg/l
スルホコハク酸塩系界面活性剤	営業秘密	ニジマス	実験	96 時間	LC50	28 mg/l
スルホコハク酸塩系界面活性剤	営業秘密	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	19 mg/l
スルホコハク酸塩系界面活性剤	営業秘密	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	28 mg/l
スルホコハク酸塩系界面活性剤	営業秘密	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	7 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ポリエチレンテレフタレート	25038-59-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
無機化合物	1317-65-3	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
スチレン・ブタジエン・アクリルアミド共重合物	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
アルキル（C10-13）ベンゼンスルホン酸ナトリウム	68411-30-3	実験 生分解性	29 日	二酸化炭素の発生	85 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
ドデシルベンゼンスルホン酸塩	27323-41-7	モデル 生分解性	19 日	DOC（溶存有機炭素）残留量	96 DOC除去%	Catalogic™
ドデシルベンゼンスルホン酸塩	27323-41-7	類似コンパウンド 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	>60 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
結晶性シリカ	14808-60-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
スルホコハク酸塩系界面活性剤	営業秘密	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	66.7 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
酸化チタン(IV)	13463-67-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ポリエチレンテレフタレート	25038-59-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
無機化合物	1317-65-3	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
スチレン・ブタジエン・アクリルアミド共重合物	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
アルキル（C10-13）ベ	68411-30-3	実験 BCF - 魚	192 時間	生物濃縮係数	2-987	OECD305-生体濃縮度試験

ンゼンスルホン酸ナトリウム						
アルキル（C10-13）ベンゼンスルホン酸ナトリウム	68411-30-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	1.4	OECD 123、log Kow（オクタノール/水分配係数）、低速攪拌法
ドデシルベンゼンスルホン酸塩	27323-41-7	類似コンパウンド BCF - 魚	28 日	生物濃縮係数	220	
結晶性シリカ	14808-60-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
スルホコハク酸塩系界面活性剤	営業秘密	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	<9.3	
酸化チタン(IV)	13463-67-7	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	9.6	

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報
船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない）　取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）
労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）

化管法：第１種指定化学物質
労働安全衛生法：令和4年厚生労働省告示第371号　がん原性があるものとして厚生労働大臣が定めるもの

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降 2027年3月31日迄	2027年4月1日以降
結晶性シリカ	結晶質シリカ	該当	該当	該当
スルホコハク酸塩系界面活性剤	ナトリウム=1,4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ]-1,4-ジオキソブタン-2-スルホナート	適用しない	該当	該当
酸化チタン(Ⅳ)	酸化チタン(Ⅳ)	該当	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
アルキル（C10-13）ベンゼンスルホン酸ナトリウム	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。）	30	第1種指定化学物質
ドデシルベンゼンスルホン酸塩	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。）	30	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報
セクション１５：労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」 情報の追加.
セクション１５：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報の追加.
セクション３：成分表 情報修正.
セクション６：事故漏出時の清掃 情報修正.
セクション６：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
セクション８：眼および顔面保護 情報修正.
セクション８：作業環境許容値 情報修正.
セクション８：OEL登録機関の説明 情報修正.
セクション９：特性 情報の削除.
セクション９：燃焼性（固体、ガス)情報 情報の削除.
セクション９：引火性情報 情報の追加.
セクション９：動粘度情報 情報の追加.
セクション９：粒子特性　適用しない 情報の追加.
セクション９：追加性状に関する記載 情報の追加.
セクション９：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
セクション９：粘度 情報の削除.
セクション１１：急性毒性の表 情報修正.
セクション１１：生殖胞変異原性の表 情報修正.
セクション１１：健康影響情報（吸入した場合） 情報修正.
セクション１１：生殖毒性の表 情報修正.

セクション１１：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション１１：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション１１：皮膚感作性の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション１２：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション１２：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション１２：生態濃縮性情報 情報修正.
セクション１５：労働安全衛生法の表 情報修正.
セクション１５：化管法の表 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。